



津田左右吉物語④

津ね夫人

津ねは高等女子実修学校卒業後、19歳で左右吉（当時32歳）と結婚しました。当時としては珍しく、教師が教え子のみそめての結婚でした。

卒業記念写真が、『津田左右吉全集』第23巻の巻頭に載せてあります。津ね夫人は、校長山脇房子女史のすぐ隣に紋付袴姿で腰掛けており、左右吉は最上段の真ん中で正面を見て立っています。また、夫人はバイオリンが堪能で、絵も

書くという才媛さいえんでした。

左右吉の膨大な専門書の草稿を浄書して、原稿に仕上げるのはいつも夫人でした。『全集』の編集のとき、二人の筆跡があまりにもよく似ていて見分けがつかないほどでした。

現在、下米田小学校に、夫人の寄贈された全集が大切に保管されています。



▲津田博士と津ね夫人